

地元探訪(3学年総合学習)実施しました！

39期生3年生は、10月30日(木)と12月19日(金)の2回にわたって、総合学習の一環として『地元探訪』を実施しました。これは、歴史ある南河内の史跡を訪ね歩いて、地元に対する理解と愛着を深めていこうという趣旨で、今年度初めて行った行事です。

1回目(10月30日)は、河内長野の高野街道を散策しました。三日市町駅前に集合し、しおりと地図を頼りに班単位で高野街道沿いの文化財や石碑などを探しながら、クイズに答えたり写真撮影(撮った写真はメールで学校に送信)をしたりしてゴールの学校を目指しました。汗ばむほどの陽気のもと、欠席者も少なく、生徒たちは楽しく散策を満喫してくれました。

2回目(12月19日)は、富田林の寺内町を訪ね歩きました。寺内町内の公園に集合し、しおりと地図を見ながら寺内町特有の建築様式を探したあと、錦織神社を經由して学校まで歩く、という行程でした。ここでも班単位で写真を撮影したりクイズに答えたりして、自然に寺内町のことが学習できるように工夫しました。冬日で朝は大変寒かったのですが、時間がたつにつれ寒さもゆるみ、学校までのウォーキング(1時間半以上かかりました)も元気に乗り切ってくれました。ゴールの学校ではPTAの皆さんが豚汁と綿菓子を振舞ってくださり、参加した生徒たちにはうれしいご褒美となりました。

しおりも非常にすぐれたものができ、生徒のみんなにも好評だったので、来年からも続けていくよう検討しています。

1回目(10月30日)



2回目(12月19日)

